

（仮称）地域活性化ホール基本構想（素案）に係るアンケート調査等の意見を踏まえた整備に当たっての考え方

1. 基本的な考え

アンケート調査を実施し、様々な意見が寄せられ、これらの意見について町、JA新砂川、商工会の三者で種々論議させていただきました。

1点目は、

この施設の整備に当たっては、現在、上記三者の協議の基に基本構想づくりを進めており、新設する施設は、町民の皆さんが気軽に立寄れる施設づくりを目指すと共に奈井江町の農業、商業、そして工業、それぞれが持つ特色や力を結集し、農・商・工が連携した施設づくりに努め、今後の実施設計等についても三者で協議し、進めてまいります。

また、建設後も管理運営面で三者が共通認識の基、様々な部分での支援や協力を惜しまないことが大切であり、この点についても改めて確認の上進めて行かなければなりません。

2点目は、

高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせるまちづくりが、アンケート調査からもニーズとして窺えます。

また、高齢者ネットワーク懇話会の議論からは、「高齢者が孤独感を感じている」、「体が弱り買い物にも苦勞している」「隣近所で支えるしくみも大切」といった意見が出されています。

こうした現状を踏まえて、JA新砂川、商工会との協議においては、まずは、高齢者自身に買い物などで、外に出てもらう環境作りが必要であり、自らが買い物をすること自体が健康管理にも繋がるとの考え方に立ちました。

地域コミュニティの希薄化が懸念される中、高齢者の生活の支援につながり、また町民と気軽に交流をしていただく場所として活用できるよう、計画を進めなければなりません。

また、子どもたちも同様に、共稼ぎ家庭が増えている中、放課後の生活において、友達と共にこの施設を訪れ、遊びや学習の場としての交流が可能となるような配慮が必要と考えます。また、町外から通学する高校生にとっても、公共交通の待ち時間を利用して、町民との交流、町の幅広い情報を得ることが可能となることが期待されます。

3点目は、

既存の公共施設との関係については、各種サークル、団体等の皆さんが文化ホールや公民館等を利用されておりますが、これまで同様に、各施設が持つそれぞれの機能を生かして、今後もご利用をいただくことが基本となります。

また、葬儀に関しては、町内の寺社や地域の会館の利用がありますが、その75%が町外で行われており、地元のバリアフリー化された施設で参列したいとの要望もあります。

この活性化ホールの特徴は、JA 店舗や商店街の利用における生活支援の拠点、駅や文化ホールとの繋がりによる多世代交流の拠点として活用されることが期待できます。

町民のコミュニティ、自由な交流の空間を創造する中、町民が気軽に立ち寄ることができる施設として整備を行い、町の中心市街地の活性化にも結びつくように計画を進めてまいります。

2. 整備等の考え方

(1) 交流エリア

- ① いつでも自由に利用でき、オープンスペースを基本とし、テーブル・イスを配置する。
- ② 活性化エリアで葬儀をしている時も開放する。(ドアで仕切る)
- ③ プレイルームを設置。(幼児対象)
- ④ 自動販売機を設置。
- ⑤ パソコンを設置。
 - ・ 情報提供 … JR (列車運行情報)、イベント案内、町HP (お知らせ、観光案内、不動産情報) 工業製品の紹介、地域の特産品の紹介
- ⑥ 図書館の移動図書
 - ・ 書棚設置。(幼児から一般。幅広い対象)
 - ・ 図書館の本の一部を定期的に入れ替えし、その場で利用いただく。
 - ・ 貸し出しは、行わない。
 - ・ 図書館で借りた本の返却は受け付ける。
- ⑦ 地域の農産物(特産品)
 - ・ Aコープ店や道の駅もあり、常設は難しい。
 - ・ 朝市(もぎたて市)等は、雁木下や交流エリアの一部だとか多目的ホールの活用も可能かと考えられる。
- ⑧ タクシーを呼ぶシステム
 - ・ タクシー会社と協議し、手法があるか検討。

(2) 活性化エリア

- ① 会議やイベント、葬儀もできる施設として利用いただくが、利用がない場合は健康づくり等でオープンにして利用してもらう。
- ② イベント
 - ・ 農・商・工合同の催事を求める声がある。
 - ・ 既存イベントが、この施設を活用してできるか、それぞれの実行

委員会で検討いただくことも必要。

- ・指定管理者が、集客目的にアマチュアの演奏会（趣味の作品展示）等を行うことも可能であり、それぞれの団体と連携して協力いただくことも必要。

③ 多目的ホール

- ・健康・体力づくりの器具を設置し、オープンにする。
- ・軽スポーツとして、利用できる用具も検討。

④ 和室

- ・カーペット式で段差がない和室とする。

(3) 外構

① 駐車場

② 3施設を結ぶ動線

- ・歩道 … 安全性等を考慮した整備を検討。

(4) その他

① 高齢者の足の確保

- ・タクシー乗り場
- ・コミュニティバスの停留所

… 高齢者が増える中で、町民の足をどう確保していくかが、これからの町全体の大きな課題と捉えています。

今後、町民ニーズのほか、運行方法やコストなどについて調査、分析を行い、公共交通のあり方について検討。